

令和 3 事業年度決算報告書

事業報告・財務諸表

公益財団法人 市原市文化振興財団

令和3事業年度 公益財団法人市原市文化振興財団事業報告 概要

当財団は、市原市の芸術文化、生涯学習及びコミュニティを振興するため、財団の持つ専門性や総合力を活かしながら、「市原市文化振興計画」の基本理念である「ひと輝き まち輝く 文化の香り高いまち いちはら」を念頭に、行政や市民をはじめ、各種文化団体等と連携・協力しながら市内の芸術文化の振興等に寄与するため各種事業を実施しております。

令和3事業年度については、新型コロナウイルス感染症が引き続き社会生活への影響を及ぼす中で、コロナ禍で培った経験を活かし、本市の芸術文化及びコミュニティの振興を目指して事業を推進するとともに、感染防止対策を講じながら、利用者が安心・安全に施設を利用できるよう施設の管理運営等に全力で取り組みました。

【公益目的事業】

文化事業については、感染予防対策を講じた上で自主文化事業と指定管理文化事業で合わせて32事業を実施することができました。

音楽公演の実施にあたっては、経済産業省のコンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金であるJ-LODlive2を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響で中止や延期した公演を実施したほか、市民が自宅でも文化芸術に触れる機会を増やすため、著名俳人の夏井いつき氏に市民が応募した俳句を選句していただいた「いはら俳句チャレンジ」や、市原市文化団体連合会と連携し、将来の芸術家や観客層を育成し優れた文化芸術の創造や地域文化の活性化につなげることを目的とした「文化芸術ワークショップ」を実施するなど、市民の創作活動の向上と持続可能な文化芸術の振興に努めました。また、市民参加型事業の新たな試みとして、音楽を愛好し活動している学生やグループが楽器の演奏を通して、演奏力の向上や音楽文化の振興を図り、出演者と観客が一体となって楽しみながらイベントに参加する金管楽器のアンサンブルコンテストを企画・実施しました。

施設管理事業については、施設の利用制限等を受ける中でも、感染防止対策を徹底しながら、市原市市民会館（以下「市民会館」という。）の適切な施設運営を行いました。市民会館施設の利用件数及び利用者数は、緊急事態宣言による貸出休止期間等があった令和2事業年度と比較して、それぞれ増加しました。

【収益事業等】

宴会室での飲食提供事業については、宴会室を新型コロナウイルスワクチンの接種会場として使用するため、令和2事業年度に引き続き休止としました。

また、市民会館利用者の利便性の向上を目的として行っている舞台看板、ピアノ調律や、各種公演のチケット受託販売などについては、施設の利用が増加したことで、令和2事業年度と比較し受託販売事業収益及び利便性向上事業収益ともに増加しました。

I 公益目的事業

1 文化事業

(1) 自主文化事業

財団の自主文化事業としては、コロナ禍においても様々な工夫を凝らし、市内の学校に出向いてのアウトリーチ型生涯学習事業や動画による公演の配信、文化芸術に携わる人々を育成・支援する文化振興ボランティア事業やアーティストの登録・育成事業などを実施しました。

①自主文化事業（動画再生回数は令和4年3月31日時点）

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数 視聴回数	事業概要
1	いちはら Artists Power	令和4年3月31日現在 登録アーティスト数 45 組		財団主催の事業や市民団体等が主催するイベントに出演していただける文化芸術アーティストを募集・登録し、アーティストに活躍の場を提供するほか、文化芸術の力で市原市をもっと元気にすることを目的とした育成型事業。
2	いちはら 文化振興ボランティア	令和4年3月31日現在 登録ボランティア数 24 名		財団が主催する事業において、運営をサポートしていただくボランティアを募集・登録することで、文化振興に参加する人材を育成する育成型事業。
3	文化情報紙 「おんぷ」	年 4 回発行		財団の文化事業の情報や市民会館のイベント情報等を掲載する文化情報紙を発行する広報事業。
4	「まちくる！」 動画配信バージョン ～#おうちでまちくる vol. 31 ピアノデュオ コンサート	5 月 16 日公開	245 回	「いちはら Artists Power」登録アーティスト等を活用し、アーティスト育成及び市原市の芸術文化活動振興を目的とした育成・鑑賞型事業。新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上でアーティストのパフォーマンスを無観客で撮影し、市原市市民会館ホームページ及び動画共有サイトにて動画配信を行った。 「ミューチェ」（大上千枝氏、渡部みゆき氏）によるミニコンサート

	vol. 32 アイリッシュハーブ コンサート	5 月 16 日公開	389 回	「めぐみどり」（齋藤恵氏、里見みどり氏） によるミニコンサート。
	vol. 33 オカリナコンサート	令和 4 年 2 月 18 日公開	208 回	木村静子氏（オカリナ）、前田圭代氏（ピアノ）によるミニコンサート。
	vol. 34 ピアノ弾き語り コンサート	3 月 4 日公開	238 回	美咲氏によるミニコンサート。
5	野村萬斎 狂言の世界	5 月 21 日 大ホール	545 名	市民に日本の伝統的な舞台芸術である狂言 を鑑賞する機会を提供することを目的とし た鑑賞型事業。
6	出前講座 サイエンスショー	6 月 8 日 9 日 10 日 市内小学校	1, 372 名	市内各小学校に出向き、市原市の将来を担う 子供達に科学のおもしろさを伝えるとともに 不思議な体験から、児童達の自己啓発を促 し、生涯学習の一助となることを目的とした 生涯学習事業。
7	伝統芸能普及事業 「かぶき」ってなんだ ろう！？	6 月 28 日 29 日 30 日 市内小学校	696 名	市内各小学校に出向き日本の伝統芸能を普 及し、体験を交えて身近なものに感じられる ことを目的とした生涯学習事業。
8	田原俊彦コンサート 【J-LODlive2 活用】	8 月 21 日 大ホール	590 名	令和 2 年 8 月に予定していた公演の振替公 演。人気アーティストの公演を実施すること で、市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機 会を提供し、文化芸術振興を目的とした鑑賞 型事業。
9	平原綾香コンサート 【J-LODlive2 活用】	令和 4 年 1 月 16 日 大ホール	581 名	令和 3 年 1 月に予定していた公演の振替公 演。人気アーティストの公演を実施すること で、市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機 会を提供し、文化芸術振興を目的とした鑑賞 型事業。

10	砂の器 シネマコンサート 【J-LODlive2 活用】	2月6日 大ホール	952名	令和2年8月に予定していた公演の振替公演。映画の映像とともにオーケストラが生演奏する公演を実施することで、市民に高度な舞台芸術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術振興を目的とした鑑賞型事業。
11	堂珍嘉邦×藤巻亮太 コンサート	3月21日 大ホール	570名	人気アーティストの公演を実施することで、市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術振興を目的とした鑑賞型事業。

②共催公演事業

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数	事業概要
1	市原フィルハーモニー 管弦楽団定期演奏会	令和3年 6月13日 大ホール	244名	市内のアマチュア管弦楽団の公演を共催することで、市民の音楽文化を広めることを目的とした鑑賞型事業。 【主催】市原フィルハーモニー管弦楽団
2	氷川きよしコンサート	7月3日 大ホール	1,208名	人気演歌歌手の公演を共催することで、市民が芸術文化に触れる機会を増やすことを目的とした鑑賞型事業。 【主催】ベルワールドミュージック
3	稲川淳二の怪談ナイト	8月8日 大ホール	617名	豪華なセットと怪談話による公演を共催することで、市民が芸術文化に触れる機会を増やすことを目的とした鑑賞型事業。 【主催】KMミュージック
4	市原市楽友協会 市民コンサート	12月5日 大ホール	415名	市内の音楽愛好家団体の公演を共催することで、市民に音楽文化を広めることを目的とした鑑賞型事業。 【主催】市原市楽友協会
5	さだまさしコンサート	3月23日 大ホール	1,048名	人気歌手の公演を共催することで、市民が芸術文化に触れる機会を増やすことを目的とした鑑賞型事業。 【主催】エニー

③支援事業

令和3事業年度の支援事業の実施はありませんでした。

④受託公演事業

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数	事業概要
1	更級日記千年紀 フォーラム	令和3年 9月20日 大ホール	515名	更級日記の作者菅原孝標女が上総国から平安京へ帰ってから千年となる節目の年であり、更級日記千年紀事業の一環として、市原市から運営を受託した。
2	更級日記千年紀 講演会	9月23日 大ホール	423名	
3	更級日記千年紀 文学賞授賞式	11月14日 小ホール	91名	

(2) 指定管理文化事業

市民会館施設の設置目的を達成するための事業で、優れた芸術文化を創造・鑑賞・体験する機会を提供するために、市民会館を市原市の文化の拠点と位置づけ、次の事業を実施しました。

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数 視聴回数	事業概要
1	One's one こんさーと	令和3年 4月24日 5月29日 大ホール	5組22名 5組12名	ホールで本番と同様に舞台・照明等をセットし、自由に練習できる場を設けることで、アマチュアの音楽活動を支援することを目的とした支援・育成型事業。
2	松山千春コンサート 【J-LODlive2 活用】	4月29日 大ホール	705名	令和2年8月に予定していた公演の振替公演。人気アーティストの公演を実施することで、市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術振興を目的とした鑑賞型事業。
3	いちはら俳句 チャレンジ	募集期間 7月1日～ 8月31日	応募人数 376人 応募句数 686句	言語によって表現される文芸のひとつである俳句にチャレンジし、俳人の夏井いつき氏に選句される機会を提供することで、市民の創作活動の向上と文化芸術の振興を目的と

		結果発表 12月1日	10,273回	した事業。夏井いつきが出演する講評動画を配信し、受賞作品を市民会館1階文化情報スペースにて展示した。
4	市民会館探検ツアー	8月6日・7日 大ホール及び小ホール 6日 (1回目) 26名 (2回目) 28名 7日 (1回目) 28名 (2回目) 24名		市民会館の裏側をより深く知ってもらい、舞台技術や舞台芸術への興味・関心を啓発するために実施した参加・体験型事業。
5	文化芸術 ワークショップ	8月22日 会議室棟 9月5日 ホール棟	45名 50名	市原市文化団体連合会と連携し、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造や地域文化の活性化につなげることを目的とした育成型事業。
6	県民芸術劇場 親子で楽しむ 室内管弦楽コンサート	9月11日 小ホール	174名	3歳からの子供を対象に室内楽コンサートを開催し、聴くだけでなく実際に楽器演奏体験をすることで、未来を担う子供達にクラシック音楽の素晴らしさを感じてもらうことを目的とした体験・鑑賞型事業。
7	市原市文化祭 「三曲大会」 「合唱祭」 「民謡秋まつり」 「古典舞踊大会」	 9月26日 小ホール 9月26日 大ホール 10月16日 小ホール 10月16日 大ホール	 157名 200名 中止 中止	地域の伝統や文化を育み伝承していくため、市民が文化活動で鍛錬した成果発表の場を設けることで、市民文化活動の活性化を図ることを目的とし、市民と協働し元気なふるさとづくりを目指す参加・鑑賞型事業。 市民や団体が箏、三弦、尺八の3種の楽器を用いて、古曲、現代曲等の演奏を披露する文化公演。 市民や団体が女声、男声、混声、手話コーラスなどの合唱を披露する文化公演。 市民や団体が豊作、祭などに彩られる秋を舞台上で唄、三味線等で表現する文化公演。 市民や団体が歌舞伎舞踊などの古典舞踊を披露する文化公演。

	「謡曲大会」	10月17日 小ホール	35名	幅広い世代の市民や団体が能の詞章を謡う謡曲を中心に披露する文化公演。
	「太鼓の輪」	10月17日 大ホール	無観客	市民や団体が和太鼓の迫力と魅力、そして楽しさを披露する文化公演。
	「短歌大会」	10月24日 会議室棟	27名	市民が応募した短歌を発表する文化事業。
	「吟詠剣詩舞大会」	10月24日 小ホール	179名	市民や団体が吟詠に合わせ舞う剣舞と詩舞という古武道の格式と詩の心を表現する文化公演。
	「民舞大会」	10月24日 大ホール	255名	市内の舞踊各流派の団体が、艶やかな着物姿で踊りを披露する文化公演。
	「郷土芸能大会」	11月14日 小ホール	中止	市内各地域で伝承される郷土芸能である「お囃子」や「ひょっとこ踊り」などを披露する文化公演。
	「ハワイアンフラ祭り」	11月14日 大ホール	324名	市民や団体がハワイアンフラの魅力を伝え、披露する文化公演。
	「歌謡祭」	12月12日 小ホール	250名	市民や団体が日頃から練習している歌謡を披露する文化公演。
	「バレエ公演」	12月12日 大ホール	682名	市民や団体がバレエの華麗な舞を披露する文化公演。
※市民会館以外の会場では、次の催物を実施しました。 「美術展」「凧揚げ大会」「盆栽展」「華道展」「工芸展」「俳句大会」「菊花展」「茶会」				
8	市民の日記念 夢の架け橋コンサート	11月3日 大ホール	645名	市内の小中学校・高等学校吹奏楽部及び合唱部で、各種大会及び音楽コンクールなどに出場し各賞に輝いた学校にその成果を披露できる場を提供するとともに、市民がその演奏や合唱を鑑賞することで、音楽芸術文化の向上を目的とした参加・鑑賞型事業。
9	生涯学習支援 「市原市小学校音楽 発表会」 「市原市中学校音楽 発表会」	11月4日 5日 大ホール	中止	市内の小・中学生が芸術文化活動の成果を発表する場を設け、音楽芸術の向上と地域社会の活性化を図ることを目的とした参加・鑑賞型事業。

	「特連文化フェスティバル」	12月9日 大ホール	中止	市内小中学校特別支援学級及び千葉県立市原特別支援学校の学生が日頃の学習や文化的活動を発表する場を設け、芸術文化に親しむことで地域コミュニティの交流と教育の向上並びに福祉の増進を図ることを目的とした参加・鑑賞型事業。
10	芸術講座 「スマホで学ぶ！映える写真の撮り方講座」	11月28日 会議室棟	30名	文化芸術の知識や技能を習得する機会を提供することで、創造性豊かな新進芸術家等の発掘や育成を目的とした参加・育成型事業。
11	原晋講演会	令和4年 1月30日 大ホール	534名	テレビでお馴染みの方による講演を実施することで、文化振興を目的とした鑑賞型事業。
12	いちはら名人寄席 春風亭昇太 三遊亭白鳥	2月13日 大ホール	211名	日本の伝統話芸である落語を鑑賞する機会を提供し、高い芸術性を備えた娯楽に触れる機会をつくるとともに、豊かな文化と芸術の振興を目的とした鑑賞型事業。
13	小林愛実 ピアノリサイタル	2月23日 大ホール	1,326名	新進気鋭のピアニストの公演を実施することで、市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術振興を目的とした鑑賞型事業。
14	映画名作劇場 「竜とそばかすの姫」 「いのちの停車場」	2月26日 大ホール	544名 292名	メディア芸術のひとつである映画の中から高い評価を得た作品を鑑賞し、作品の持つ芸術性に触れる機会を提供した鑑賞型事業。
15	市民参加型事業 アンサンブルコンテスト	3月27日 大ホール	217名	市民や団体と財団が協働して作り上げる熱気あふれるステージを披露した市民参加型事業。

2 施設管理運営事業

(1) 施設管理及び施設貸出

①ホール・会議室等の貸出業務

施設貸出業務は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、感染防止対策を徹底し、安

心・安全な施設貸出を目指しました。令和３事業年度は、令和２事業年度と比べ利用件数及び利用者数ともに大幅に増加しました。

ア．利用件数

(単位：件)

区分	大ホール	小ホール	会議室等	宴会室	計
令和２年度	59	79	761	0	899
令和３年度	147	175	1,423	0	1,745
前年度対比	249.2%	221.5%	187.0%	－	194.1%

イ．利用者数

(単位：人)

区分	大ホール	小ホール	会議室等	宴会室	計
令和２年度	14,608	9,923	15,498	0	40,029
令和３年度	46,139	21,950	27,972	0	96,061
前年度対比	315.8%	221.2%	180.5%	－	240.0%

②保守点検・管理業務委託

利用者の安全、安心を最優先に考え、設備機器等の保全を図るため、下記のとおり保守点検等を委託しました。また、修繕が必要な箇所については、優先順位を付けて限られた修繕予算を有効に活用しました。

番号	委託業務名
1	建物管理業務委託
2	緑地管理業務委託
3	消防設備保守業務委託
4	昇降機保守業務委託
5	吸収冷温水機保守業務委託
6	ホール舞台保守業務委託
7	ホール照明保守業務委託
8	放送装置保守業務委託
9	ピアノ保守業務委託
10	電話交換機設備保守業務委託
11	一般廃棄物処理業務委託
12	産業廃棄物処理業務委託
13	ストレージタンク性能検査に伴う受検準備整備委託

14	エネルギー施設蒸気ボイラ点検業務委託
15	窒素酸化物濃度測定業務委託
16	飲料水水質検査委託
17	冷却塔水質検査委託
18	簡易専用水道検査委託
19	舞台運営業務委託

II 収益目的事業

1 宴会室における飲食提供事業

令和3事業年度の飲食提供事業は休止いたしました。

2 その他公益目的事業の推進に資する事業

(1) チケット受託販売事業

施設利用者へのサービスの充実を図り、広く舞台芸術の鑑賞の機会を促すため、当財団が主催する公演以外のチケットを受託販売する事業を実施しました。

(2) 施設利用者の利便性向上のための事業

市民会館において、施設利用者の利便性向上とサービスの充実を図るため、看板、飾花、ピアノ調律等の利用者サービス事業を実施しました。

III その他の事業

施設利用者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出・維持管理を行う事業を実施しました。

IV その他

1 理事会について

回数	開催年月日	提出議案		経過
第1回	3年5月23日	第1号	令和2事業年度公益財団法人市原市文化振興財団事業報告について	原案承認
		第2号	令和2事業年度公益財団法人市原市文化振興財団収支決算について	原案承認
		第3号	令和3事業年度第1回評議員会の開催について	原案可決

第2回	6月3日	第4号	理事長（代表理事）の選定について	原案可決
		第5号	常務理事（業務執行理事）の選定について	原案可決
第3回	12月20日	第6号	令和3事業年度公益財団法人市原市文化振興財団収支補正予算（第1号）について	原案承認
第4回	4年3月8日	第7号	令和4事業年度公益財団法人市原市文化振興財団事業計画について	原案承認
		第8号	令和4事業年度公益財団法人市原市文化振興財団収支予算について	原案承認
		第9号	公益財団法人市原市文化振興財団諸規程の一部改正について	原案可決
		第10号	役員賠償責任保険の加入について	原案可決
		第11号	公益財団法人市原市文化振興財団職員給与規程の一部改正について	原案可決
		第12号	令和3事業年度第2回評議員会の開催について	原案可決

※令和3事業年度理事会は、全て決議の省略による。

2 評議員会について

回数	開催年月日	提出議案		経過
第1回	3年6月3日	第1号	令和2事業年度公益財団法人市原市文化振興財団事業報告について	原案承認
		第2号	令和2事業年度公益財団法人市原市文化振興財団収支決算について	原案承認
		第3号	理事の選任について	原案可決
第2回	4年3月24日	第4号	公益財団法人市原市文化振興財団の役員等の報酬等及び費用弁償の支給に関する規程の一部改正について	原案可決

※令和3事業年度評議員会は、全て決議の省略による。

3 職員に関する事項

① 研修会・講習会

新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会や講習会の中止が相次ぎましたが、オンライン

で開催される研修会を積極的に受講しました。特に、全国公立文化施設協会が実施する全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会は職員全員が受講し、コロナ禍における事業企画や施設運営、今後の文化振興や施設管理について、知識の習得やスキルアップを図りました。

②職員数の推移

区分	令和元年度末（人）		令和２年度末（人）		令和３年度末（人）	
職務の級	一般職	臨時職等	一般職	事業年度雇用職員	一般職	事業年度雇用職員
７	１		１		１	
６	１		１		１	
５						
４	３		３		３	
３	１		１		１	
２	２		３		３	
１	１		２		１	
臨時職等		４		２		２
計	９	４	１１	２	１０	２

貸 借 対 照 表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	137,208,779	157,332,357	△ 20,123,578
未収金	33,822,900	16,137,676	17,685,224
前払金	0	754,562	△ 754,562
立替金	2,757,541	119,062	2,638,479
未収消費税	216,800	0	216,800
繰延税金資産	1,907,427	3,917,300	△ 2,009,873
流動資産合計	175,913,447	178,260,957	△ 2,347,510
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	79,129,076	74,478,483	4,650,593
自主文化事業安定継続実施準備資金	10,529,000	25,013,000	△ 14,484,000
特定資産合計	89,658,076	99,491,483	△ 9,833,407
(3) その他固定資産			
車両運搬具	2,023,572	2,023,572	0
什器備品	9,131,200	19,595,200	△ 10,464,000
減価償却累計額	△ 9,136,540	△ 18,798,699	9,662,159
電話加入権	101,300	101,300	0
ソフトウェア	204,740	281,516	△ 76,776
受入保証金定期	0	0	0
その他固定資産合計	2,324,272	3,202,889	△ 878,617
固定資産合計	94,982,348	105,694,372	△ 10,712,024
資産合計	270,895,795	283,955,329	△ 13,059,534
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	50,600	50,600	0
未払金	17,862,968	8,241,984	9,620,984
前受金	0	1,922,200	△ 1,922,200
預り金	6,233,672	9,524,889	△ 3,291,217
未払法人税等	390,800	486,800	△ 96,000
未払消費税等	0	3,906,400	△ 3,906,400
流動負債合計	24,538,040	24,132,873	405,167
2. 固定負債			
退職給付引当金	79,129,076	74,478,483	4,650,593
受入保証金	0	0	0
固定負債合計	79,129,076	74,478,483	4,650,593
負債合計	103,667,116	98,611,356	5,055,760
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	164,228,679	182,343,973	△ 18,115,294
	10,529,000	25,013,000	△ 14,484,000
正味財産合計	167,228,679	185,343,973	△ 18,115,294
負債及び正味財産合計	270,895,795	283,955,329	△ 13,059,534

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	60	300	△ 240
基本財産受取利息	60	300	△ 240
特定資産運用益	2,084	5,450	△ 3,366
特定資産受取利息	2,084	5,450	△ 3,366
事業収益	258,966,449	169,816,485	89,149,964
施設管理事業収益	148,942,682	120,460,352	28,482,330
指定文化事業収益	26,757,545	8,617,973	18,139,572
自主文化事業収益	31,874,632	0	31,874,632
施設貸出事業収益	49,647,561	40,153,454	9,494,107
飲食提供事業収益	0	0	0
受託販売事業収益	699,446	184,278	515,168
利便性向上事業収益	1,044,583	400,428	644,155
雑収益	15,936	78	15,858
雑収益	15,928	34	15,894
受取利息	8	44	△ 36
経常収益計	258,984,529	169,822,313	89,162,216
(2) 経常費用			
事業費	273,024,619	178,731,102	94,293,517
出演料	59,518,782	3,202,728	56,316,054
仕入	440,273	265,000	175,273
給料手当	70,935,468	70,622,283	313,185
役員報酬	9,000,888	9,000,888	0
退職給付費用	4,686,568	5,806,452	△ 1,119,884
法定福利費	12,602,688	12,789,165	△ 186,477
福利厚生費	484,774	528,297	△ 43,523
光熱水費	28,099,383	0	28,099,383
旅費交通費	2,647	2,884	△ 237
消耗品費	3,242,252	2,705,794	536,458
印刷製本費	0	0	0
図書購入費	42,691	36,672	6,019
委託料	61,115,490	52,803,440	8,312,050
賃借料	3,628,941	2,947,131	681,810
燃料費	21,316	23,550	△ 2,234
広告宣伝費	7,258,175	6,212,630	1,045,545
通信運搬費	1,528,088	2,005,454	△ 477,366
租税公課	560,100	227,200	332,900
修繕費	3,954,800	3,567,663	387,137

目	当年度	前年度	増減
支払手数料	3,402,403	3,398,033	4,370
負担金	182,000	182,700	△ 700
経理費	625,000	545,000	80,000
保険料	385,550	351,850	33,700
雑支出	427,727	590,932	△ 163,205
減価償却費	878,615	915,356	△ 36,741
管理費	1,674,529	1,509,034	165,495
給料手当	716,504	713,343	3,161
役員報酬	351,906	342,906	9,000
退職給付費用	47,339	58,651	△ 11,312
法定福利費	127,291	129,178	△ 1,887
福利厚生費	4,898	5,336	△ 438
旅費交通費	36,720	2,548	34,172
修繕費	101,400	51,320	50,080
印刷製本費	127,228	129,493	△ 2,265
交際費	11,431	1,431	10,000
消耗品費	20,111	3,646	16,465
広告宣伝費	0	0	0
研修費	0	0	0
保険料	70,000	70,000	0
雑支出	59,701	1,182	58,519
経常費用計	274,699,148	180,240,136	94,459,012
当期経常増減額	△ 15,714,619	△ 10,417,823	△ 5,296,796
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
雑支出	0	0	0
固定資産除却損	2	0	2
経常外費用計	2	0	2
当期経常外増減額	△ 2	0	△ 2
税引前当期一般正味財産増減額	△ 15,714,621	△ 10,417,823	△ 5,296,798
法人税、住民税及び事業税	390,800	486,800	△ 96,000
法人税等調整額	2,009,873	△ 394,450	2,404,323
当期一般正味財産増減額	△ 18,115,294	△ 10,510,173	△ 7,605,121
一般正味財産期首残高	182,343,973	192,854,146	△ 10,510,173
一般正味財産期末残高	164,228,679	182,343,973	△ 18,115,294
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	167,228,679	185,343,973	△ 18,115,294

正味財産増減計算内訳書

令和3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計					法人会計	合計
	公 1	小 計	収 1	収 2	他 1	共通	小 計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	60	60	0	0	0	0	0	0	60
基本財産利息収益	60	60					0		60
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	2,084	2,084
特定資産利息収益		0					0	2,084	2,084
事業収益	207,574,859	207,574,859	0	1,744,029	49,647,561	0	51,391,590	0	258,966,449
施設管理事業収益	148,942,682	148,942,682					0		148,942,682
指定文化事業収益	26,757,545	26,757,545					0		26,757,545
自主文化事業収益	31,874,632	31,874,632					0		31,874,632
施設貸出事業収益		0			49,647,561		49,647,561		49,647,561
飲食提供事業収益		0	0				0		0
受託販売事業収益		0		699,446			699,446		699,446
利便性向上事業収益		0		1,044,583			1,044,583		1,044,583
雑収益	15,928	15,928	0	0	0	0	0	8	15,936
雑収益	15,928	15,928					0	0	15,928
受取利息		0	0				0	8	8
経常収益計	207,590,847	207,590,847	0	1,744,029	49,647,561	0	51,391,590	2,092	258,984,529
(2) 経常費用									
事業費	228,493,551	228,493,551	0	1,877,875	42,653,193	0	44,531,068		273,024,619
出演料	59,518,782	59,518,782					0		59,518,782
仕入		0	0	440,273			440,273		440,273
給料手当	56,605,072	56,605,072	0	716,504	13,613,892		14,330,396		70,935,468
役員報酬	7,182,530	7,182,530	0	90,906	1,727,452		1,818,358		9,000,888
退職給付費用	3,739,787	3,739,787	0	47,339	899,442		946,781		4,686,568
法定福利費	10,056,706	10,056,706	0	127,291	2,418,691		2,545,982		12,602,688
福利厚生費	386,841	386,841	0	4,898	93,035		97,933		484,774
光熱水費	21,074,541	21,074,541			7,024,842		7,024,842		28,099,383

旅費交通費	2,647	2,647	0				0		2,647
消耗品費	2,649,254	2,649,254	0		592,998		592,998		3,242,252
印刷製本費	0	0	0		0		0		0
図書購入費	32,018	32,018			10,673		10,673		42,691
委託料	46,607,066	46,607,066	0	238,000	14,270,424		14,508,424		61,115,490
賃借料	3,395,991	3,395,991	0	3,390	229,560		232,950		3,628,941
燃料費	15,986	15,986			5,330		5,330		21,316
広告宣伝費	7,258,175	7,258,175	0		0		0		7,258,175
通信運搬費	1,313,700	1,313,700	0		214,388		214,388		1,528,088
租税公課	449,950	449,950	0	600	109,550		110,150		560,100
修繕費	2,966,100	2,966,100			988,700		988,700		3,954,800
支払手数料	3,064,914	3,064,914		200,604	136,885		337,489		3,402,403
負担金	134,680	134,680	0	1,820	45,500		47,320		182,000
経理費	462,500	462,500	0	6,250	156,250		162,500		625,000
保険料	289,163	289,163			96,387		96,387		385,550
雑支出	427,727	427,727					0		427,727
減価償却費	859,421	859,421			19,194		19,194		878,615
管理費								1,674,529	1,674,529
給料手当								716,504	716,504
役員報酬								351,906	351,906
退職給付費用								47,339	47,339
法定福利費								127,291	127,291
福利厚生費								4,898	4,898
旅費交通費								36,720	36,720
修繕費								101,400	101,400
印刷製本費								127,228	127,228
交際費								11,431	11,431
消耗品費								20,111	20,111
広告宣伝費								0	0
研修費								0	0
保険料								70,000	70,000
雑支出								59,701	59,701
経常費用計	228,493,551	228,493,551	0	1,877,875	42,653,193	0	44,531,068	1,674,529	274,699,148

当期経常増減額	△ 20,902,704	△ 20,902,704	0	△ 133,846	6,994,368	0	6,860,522	△ 1,672,437	△ 15,714,619
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	2	2	0	0	0	0	0	0	2
雑支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産除却損	2	2	0	0	0	0	0	0	2
当期経常外増減額	△ 2	△ 2	0	0	0	0	0	0	△ 2
他会計振替額	3,367,180	3,367,180	0	0	△ 3,367,180	0	△ 3,367,180	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 17,535,526	△ 17,535,526	0	△ 133,846	3,627,188	0	3,493,342	△ 1,672,437	△ 15,714,621
法人税、住民税及び事業税		0				390,800	390,800		390,800
法人税等調整額		0				2,009,873	2,009,873		2,009,873
当期一般正味財産増減額	△ 17,535,526	△ 17,535,526	0	△ 133,846	3,627,188	△ 2,400,673	1,092,669	△ 1,672,437	△ 18,115,294
一般正味財産期首残高	160,266,387	160,266,387	40,393,718	12,562,693	67,345,327	△ 69,132,006	51,169,732	△ 29,092,146	182,343,973
一般正味財産期末残高	142,730,861	142,730,861	40,393,718	12,428,847	70,972,515	△ 71,532,679	52,262,401	△ 30,764,583	164,228,679
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000					0	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000					0	0	3,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高	145,730,861	145,730,861	40,393,718	12,428,847	70,972,515	△ 71,532,679	52,262,401	△ 30,764,583	167,228,679

※事業区分について

公益目的事業（公１）・・・芸術文化、生涯学習及びコミュニティの振興に関する事業

収益事業等（収１）・・・宴会室における飲食提供事業

収益事業等（収２）・・・その他公益目的事業の推進に資する事業（チケット受託販売事業、施設利用者の利便性向上のための事業）

収益事業等（他１）・・・市原市から指定された施設の管理運営事業（公益目的以外の施設貸出事業）

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっている。

ソフトウェア 定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金 自己都合退職による期末退職給与の要支給額100%に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理 税抜き方式によっている。

(4) 税効果会計の適用 法人税等の金額を合理的に期間対応させ、より適正な正味財産増減額を計上するため税効果会計を適用している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	74,478,483	4,733,907	83,314	79,129,076
自主文化事業安定継続実施準備資金	25,013,000	0	14,484,000	10,529,000
小 計	99,491,483	4,733,907	14,567,314	89,658,076
合 計	102,491,483	4,733,907	14,567,314	92,658,076

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債の対応する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	－
小 計	3,000,000	3,000,000	0	－
特定資産				
退職給付引当資産	79,129,076	0	0	79,129,076
自主文化事業安定継続実施準備資金	10,529,000	0	10,529,000	0
小 計	89,658,076	0	10,529,000	79,129,076
合 計	92,658,076	3,000,000	10,529,000	79,129,076

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（直接法による減価償却を行っているもの）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア（公益法人会計DX）	383,884	179,144	204,740
ソフトウェア（給与DX）	201,883	201,883	0
ソフトウェア（固定資産DX）	152,533	152,533	0
ソフトウェア（調定用ソフト）	936,000	936,000	0
合 計	1,674,300	1,469,560	204,740

5 引当金の明細

（単位：円）

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	74,478,483	4,733,907	83,314	0	79,129,076

6 税効果会計関係

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

一時差異名	前期末残高	当期末残高	増減額
未払事業税	29,986	15,894	△ 14,092
退職給与引当金	3,887,314	1,891,533	△ 1,995,781
合 計	3,917,300	1,907,427	△ 2,009,873

7 関連当事者との取引

該当事項はありません。

8 重要な後発事象

該当事項はありません。

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記 2、3 に記載をしているので、内容の記載を省略している。

2 引当金の明細

財務諸表に対する注記 5 に記載をしているので、内容の記載を省略している。

財 産 目 録
令和4年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	手元保管	運転資金	245,670
現金	千葉銀行 市原市役所出張所	運転資金、指定管理料	62,022,274
普通預金	千葉銀行 市原市役所出張所	運転資金、自主財源	73,118,202
	千葉興業銀行 五井支店	"	940,586
	京葉銀行 国分寺台支店	"	459,718
	千葉信用金庫 五井支店	"	156,473
	館山信用金庫 若宮支店	"	133,001
	みずほ銀行 五井支店	"	1,541
	市原市農業協同組合 本店	"	131,314
未収金		3月分指定管理料、事業助成金等	33,822,900
前払金			0
立替金		労働保険料、ワクチン事務センター光熱水費	2,757,541
未収消費税			216,800
繰延税金資産		税効果会計分	1,907,427
流動資産合計			175,913,447
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	みずほ銀行五井支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用	3,000,000
基本財産合計			3,000,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産			79,129,076
普通預金	千葉銀行 市原市役所出張所	職員の退職手当支払準備	14,742,927
定期預金	みずほ銀行 五井支店	"	7,000,000
	千葉銀行 市原市役所出張所	"	10,000,000
	千葉興業銀行 五井支店	"	10,000,000
	京葉銀行 国分寺台支店	"	10,000,000
	千葉信用金庫 五井支店	"	7,386,149
	館山信用金庫 若宮支店	"	10,000,000
	市原市農業協同組合 本店	"	10,000,000
自主文化事業安定継続実施準備資金			10,529,000
普通預金	千葉銀行 市原市役所出張所	自主文化事業支払準備	10,529,000
特定資産合計			89,658,076
(3) その他固定資産			
車両運搬具		公用車	2,023,572
什器備品		チケット予約システム他	9,131,200
減価償却累計額			△ 9,136,540
電話加入権			101,300
ソフトウェア		会計システム他	204,740
その他固定資産合計			2,324,272
固定資産合計			94,982,348
資産合計			270,895,795
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金		3月分仕入	50,600
未払金		文化事業費他	17,862,968
前受金			0
預り金		払戻チケット、施設使用料預り金等	6,233,672
未払消費税等			0
未払法人税等			390,800
流動負債合計			24,538,040
2. 固定負債			
退職給付引当金		職員の退職手当支払準備	79,129,076
固定負債合計			79,129,076
負債合計			103,667,116
正味財産			167,228,679